

極小未熟児就学時健診の結果

(分担研究：ハイリスク児の地域ケアのあり方に関する研究)

分担研究者 諸岡 啓一 有本 潔
高木 一江

1) で作製した就学時健診チェックリストにより
診察を行った。

今回作製した就学時健診チェックリストを各
分担研究施設でも使用したが、視覚認知障害、超
確認知障害などもチェックでき、1名当りの所要
時間は30 - 40分であり、有用であると考えら
れた。本年度は準備期間の関係上心理テストも
含めて診察できた症例は少数に留まった。私共
が診察した結果を示す。

症例 1

K. E. 女児 7歳0ヵ月 (H5.2.5 施行)
1348g/30週
低カルシウム血症、高ビリルビン血症、RDS、日
齢20で発熱(感染)
日齢47で退院
現在小学校1年生
学業成績上位、体育正常、リレーの選手、スイ
ミングスクール継続
問診、神経学的診察、神経心理学的診察 すべて正常
発達検査 3月(春休み)に施行予定

症例 2

A. T. 男児 7歳9ヵ月 (H5.2.5 施行)
1764g/33週
一過性多呼吸、多血症、高ビリルビン血症
日齢14より頭囲拡大、日齢60でVPシャント手術
日齢90で退院
てんかん(複雑部分発作、全般性強直・間代
発作)あり
現在小学2年生 学業困難

問診：異常項目多い
新版K式発達検査法 H4.11 (7歳7ヵ月)
認知DQ65、言語DQ80、全DQ71
Bender - Gestalt Test
5歳台 所要時間大
診断
精神遅滞(境界)
不器用、微細運動障害
てんかん(複雑部分発作、全般性強直・間代
発作)
斜視 水頭症